

ネイチャーポジティブとカーボンニュートラルの同時実現に向けた再生可能エネルギー推進技術等の評価・実証事業

(③自然を生かした解決法 (Nature Based Solution : NbS) による、ネイチャーポジティブに資する再生可能エネルギー技術の実証事業)

太陽光発電によるネイチャーポジティブの実現に向けて

本事業は、国際合意であるネイチャーポジティブやカーボンニュートラルを目指すため、そこからバックキャストして必要となる各種技術テーマについて公募を行い、自然環境への負荷を可能な限り回避し、トレードオフを技術的政策により解消することで、信頼される再生可能エネルギーの推進を目指すものです。

具体的には、諸外国では一部先端的な取組として導入されている、太陽光パネルの設置において、下部の植生管理を適切に行うことで、植物の蒸散作用を生かしたパネル表面温度の低下や、再生可能エネルギー施設周辺の自然生態系を豊かにするという取組を、日本に適切に導入拡大することを目的として、各種パラメーター（温度、発電効率等）について検証をして、効果を実証する試験を実施する事業です。

太陽光発電によるカーボンニュートラルおよびネイチャーポジティブの同時実現

期間：令和6～8年度

事業
主体

東急不動産株式会社（代表）
株式会社石勝エクステリア、株式会社リエネ



共同実施者：

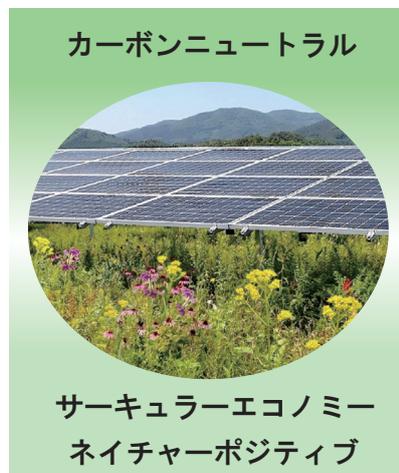
株式会社地域環境計画、株式会社JDSC、国立大学法人千葉大学
東京都市大学

自然資本活用による太陽光発電施設の総合的評価分析

カーボンニュートラルおよびネイチャーポジティブの同時実現を目指し、再生エネルギー発電施設（太陽光）における、植生管理を適切に行った際の生物多様性効果や発電効率・経済効果などシナジー最大化に向けた検証を実施します。



植物が持つ
多様な機能の活用



トレードオフからトリプルウィンへ転換